

日本伝熱学会関西支部 第 31 期定時総会・特別講演会 第 32 期第 1 回講演討論会 開催報告

第 31 期特別講演会・第 32 期第 1 回講演討論会を神戸大学深江キャンパス・梅木 Y ホールにて、下記の内容で開催しました。

日 時：2025 年 4 月 25 日（金）13:00～17:45

会 場：梅木 Y ホール（神戸大学深江キャンパス）

参加者：43 人

ご講演いただいた講演資料で公開可能なものは下記 URL からダウンロード可能です。

<https://bit.ly/3YeGMLb>

【日本伝熱学会関西支部 第 30 期定時総会】

13:00～13:25 関西支部第 30 期定時総会

【日本伝熱学会関西支部 第 30 期特別講演会】

13:35～13:40 特別講演会／講演討論会 開会挨拶

13:40～15:45 特別講演会

13:40～14:40 須賀 一彦 氏（追手門学院大学，大阪公立大学名誉教授）

題 目：Whither Turbulence Modelling?

(From Where to Where)乱流モデリングは何処から何処に向かうのか

概 要：須賀先生が過去 40 年近くライフワークとして携わってこられた乱流の数学モデリングについて講演いただいた。学術的な内容だけでなく、学会等における講演者の人的交流の秘話も交えながら、過去の学術的歴史と紐付けてご説明いただいた。流体力学の巨人たちの裏話も面白くご講演くださった。また、今後どのように進展していくのかについて、展望いただいた。



14:45～15:45 木戸 長生 氏（パナソニック）

題 目：商品開発と伝熱研究を振り返って

概 要：42 年間の企業勤務（松下冷機（株）、松下電器産業（株）、パナソニック（株））での商品開発や事業開発において、伝熱や熱交換がポイントになる技術開発を数多く実施してこられたご経験に基づき、代表的な研究開発事例として、エアコン用水平内面溝付管内の蒸発熱伝達、フィンチューブ熱交換器の性能計算、液体熱搬送を利用



したペルチェ冷却システム、小型ランキンサイクル排熱発電システムなどについてご説明いただいた。

【日本伝熱学会関西支部 第32期第1回講演討論会】

15:55~16:40 蓬萊 岳登 氏（株式会社ノーリツ）

題 目：水素 100%燃料給湯器の開発と今後の展望について

概 要：ノーリツの主戦場であるガス給湯器業界においても天然ガスや液化石油ガスの化石燃料に代わるクリーンな燃料として水素ガスが注目されており、その背景についてご説明いただいた。従来ガス給湯器の使い勝手を維持しつつ、水素ガスを燃料として安全かつ安心してお湯を沸かす技術開発について、詳細にご説明いただいた。最後に、今後の展望についても述べられた。



16:40~17:25 浮田 芳昭 氏（兵庫県立大学）

題 目：マイクロ流体によるバイオプロセスの自動/自律制御への挑戦

概 要：バイオ・ケミカルプロセスの小型化・高機能化・低廉化に貢献する技術として活発に研究が行われているマイクロ流体システムについて、説明いただいた。浮田先生が開発された簡便な小型抗原検査システムや関連技術について紹介いただいた。さらに、機械学習をマイクロ流体システムへ適用を検討した成果についても紹介いただいた。



17:30~17:40 写真撮影・閉会挨拶

18:00~ 意見交換会

会 場：神戸大学深江キャンパス生協

参加者：35人

